

はなわ 議会だより

2014
No.128

発行/福島県塙町議会
平成26年10月17日

また来てね

交流学习を終えて (笹原幼稚園)

9月定例会ほか

議会基本条例制定	P2
決算特別委員会	P6
町の考えを問う (7議員が一般質問)	P8

県南地方初 議会基本条例を制定 もっと身近な議会へ



9月定例会は、9月10日から17日までの会期で開催されました。議会基本条例の制定、平成25年度決算や補正予算、町提出議案16件を審議し、原案のとおり可決・認定しました。また、2件の報告議案が報告されました。一般質問では7名の議員が登壇し、(仮称)健康福祉センター・学力テスト公表などについて質問しました。

全会一致で可決

議会基本条例は現在、全国で約3割の議会が制定し、今後増加する傾向にあります。県南地方では初めての制定です。

議会基本条例について

議会基本条例は、議会活動を町民の皆さんと共有し、議会や議員のあるべき姿を条文化し、議員の進むべき道を約束するものです。

今後、議員は条例の趣旨に沿って活動することになります。当たり前のことを当たり前に、議員の

活動をわかりやすく皆さんにお伝えし、皆さんと問題点を共有し、共に考えていく議会を目指します。

町民の皆さんにとって身近な議会になるよう、埜の未来を共に考えていきたいと思います。

制定までの経過

平成20年に議会活性化委員会を設置し、議会報告会の実施や議員定数・報酬の特別委員会設置、議員報酬、期末手当等に関する条例制定など様々な議会改革に取り組んでまいりました。

現議員の任期からは事務調査後の委員間討議、報告書の作成の義務化、議会改革先進地視察研修(4カ所)、平成25年11月に議会基本条例制定検討委員会を設置し、検討委員会及び全員協議会を合計30回開催し、協議・調査を行い、議会基本条例の素案を作り、町民との意見交換会を町内6カ所で開催しました。パブリックコメント(意見公募)で皆さんからの意見を反映させて条例を作りました。

何が変わるの

議会の活動・内容を公開します
本会議の録画中継、委員会の公開、議員研修等の公表、フェイスブック、ツイッターでの情報発信(実施済み)
皆さんが参加しやすくします
議会報告会を年1回開催、請願者等との意見交換ほかにも
政策提言、事務調査の強化、議員定数・報酬見直し

目に見える
具体的な活動をしていきます

寄せられた意見

- 町民に対する報告・公開をしていないのではないか。
- 透明性が高いが議員の負担(きつい)になるだろう。このとおりにできるのか。
- 全町民に対し条例骨子(案)の公開が必要なのではないのか。
- 今まで条例がなかったのがおかしい。条例制定のプロセスの中で、議会が成長していくと思う。
- 町民の意見を無視できない条例の制定
- ↓3条(町民に対して説明)、5条(情報公開)、6条(活動報告)、11条(町民意見の反映)
- 条例制定後の成果・評価を行うべき。
- ↓20条(条例見直し)
- 町民の立場に立つべき。↓7条(意見陳述)
- 「自分たちで作って自分たちで守る。」お互いに信頼関係の構築につながり大変よい。
- ↓20条(理念及び原則を遵守)
- 情報公開・インターネットの活用は評価できる。議員の質問力向上につながる。
- ↓5条(情報公開)
- 議員自身で条例化したことに敬意を表すが、議会活動原則を読むと当たり前にできていなかった、反省したのだと解釈。今後の議会・議員の動向に期待し、見ていく。
- すばらしい内容。一日も早く実施できるようにお願いしたい。

埜町議会基本条例 主な内容

- 第1章 総則(目的)(基本理念)
- 第2章 議会及び議員の活動原則
- 第3章 町民と議会との関係
- 第4章 執行機関と議会との関係
- 第5章 調査及び研修の充実
- 第6章 議員の身分、待遇及び政治倫理
- 第7章 議会機能の充実強化
- 第8章 議会活性化の継続

(全8章20条例で構成)

※条例全文は議会ホームページで見ることができます。



埜町議会議長
鈴木 道男

今までの議会改革を堅持するため
条例制定を願って来た。
更に議会のあるべき姿を求めて
進んでいきたい。

平成25年度決算 総額88億円を認定

着実な町政運営へ前進

平成25年度決算額 町税収入3千万円増

会計別決算の状況

会計	歳入	歳出
一般会計	60億8100万円	57億5389万円
国民健康保険	11億7530万円	11億4464万円
笹原財産区	389万円	353万円
特別会計		
農業集落排水	1億7970万円	1億7964万円
埴林間工業団地	2億7969万円	2億7399万円
公共下水道	1億8231万円	1億8209万円
介護保険	8億5238万円	8億4512万円
後期高齢者医療	9349万円	9349万円
合計	88億4777万円	84億7639万円

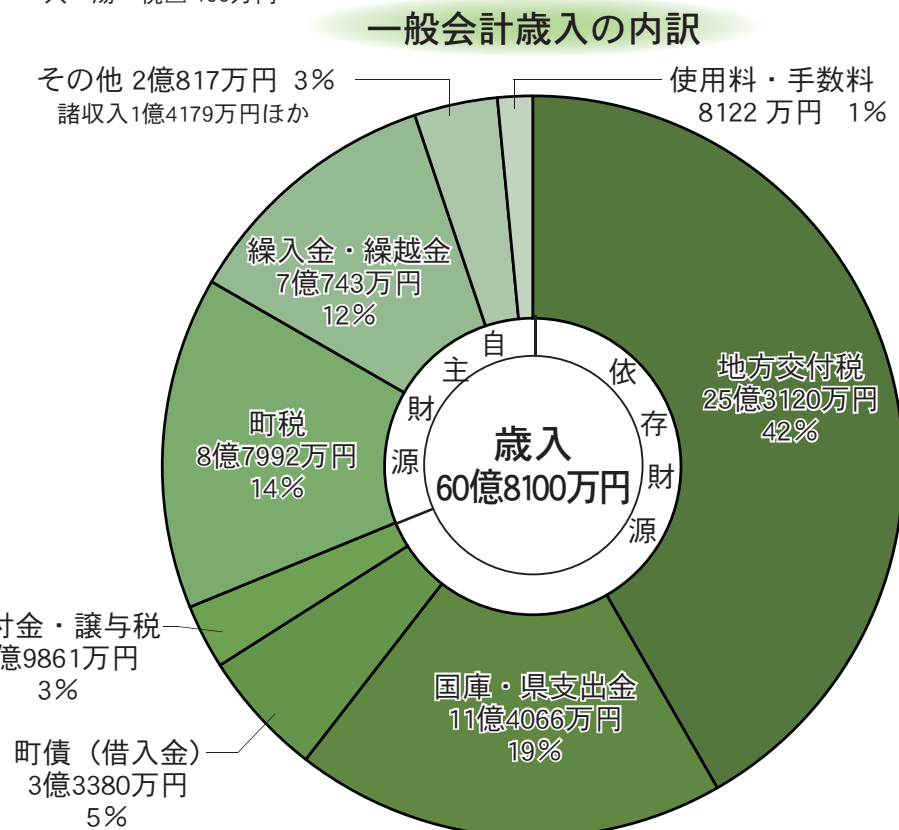
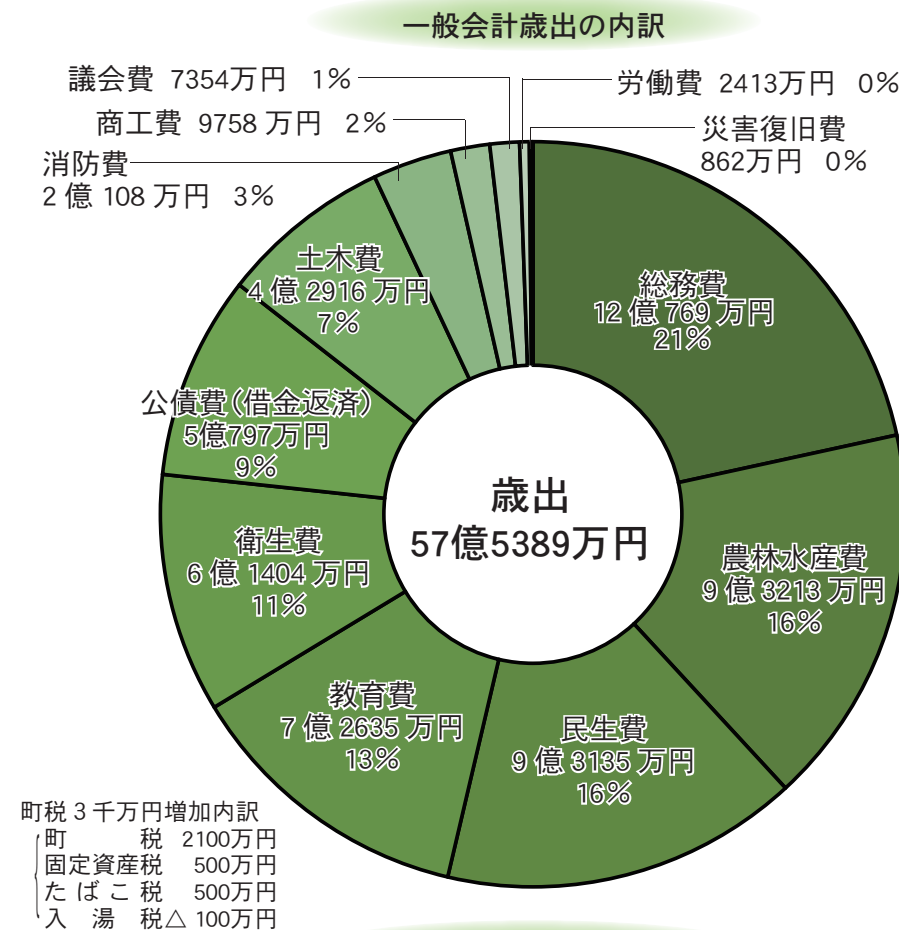
平成25年度上水道事業損益計算書から

科目	金額(千円)	歳出
営業収益	93,160	水道料など
営業費用	186,708	運営経費・減価償却など
営業外収益	135,131	町補助金など
営業外費用	29,705	償還利息など
経常利益	11,879	
特別利益	125	
特別損失	508	過年度損益修正
当年度純利益	11,496	

財政健全化比率

健全化判断比率	平成25年度	早期健全化基準	財政再生基準	説明
実質赤字比率	—	15	20	一般会計を対象とした歳入歳出の赤字額の割合
連結実質赤字比率	—	20	35	全会計を対象とした歳入歳出の赤字の割合
実質公債費比率	8.6	25	35	歳入に対する借金返済の割合
将来負担比率	16.9	350	—	公社や第3セクターなども含め将来負担すべき借金の割合

(単位：%)



平成25年度の決算総額(一般会計、特別会計)は歳入が、88億4777万円、歳出が84億7639万円となりました。一般会計の歳入は、60億8100万円、歳出は57億5389万円。歳入歳出共に前年度決算額より減少しました。これは地域給付金事業など震災関連事業が減少したためです。一方、町税収入が3000万円(3.6%)の増加となりました。特別会計では土地建物の売り払いにより林間工業団地特別会計が大幅に増加しました。財政の健全化を示す財政健全化判断比率は昨年に続き、経営健全化基準を下回り健全化が進みました。

監査意見書(要旨)

各会計の収支決算、基金及び財産の状況は適正なものと認める。一般会計では、町税収入が3千万円の増加となった。また、様々な徴収対策によって収入未済額は減少し改善されつつある。さらに、起債額が減少、特に臨時財政対策債への依存を抑制することができた。これらにより自主財源比率は上昇改善の方向に向かった。

なお、各種補助金の必要性、有効性、算出根拠、公的施設等管理の業務委託による有効性、経済性、随意契約取扱の慎重性、経済性、競争性について検証の上改善されたい。

特別会計等は、一般会計からの繰入金でカバーされているが、このうち農業集落排水、公共下水、上水道事業は実質赤字で財政上の負担となっている。収支の改善、赤字額の縮減を図られたい。

平成25年度決算は、健全財政を目指しての適切な財政運営が図られた。当町を取り巻く行財政環境は引続き厳しいものと予想されるが事業の選択と集中、住民目線による大胆な行財政改革の実行、自立を目指しての安定した財政基盤の確立により、個性豊かな住みよい町づくりに向かい一步一步着実に前進されるよう期待する。



埴町監査委員 石川 昭彦
大縄 武夫

初 決算特別委員会 予算は適正に使われたのか



特別委員会でより深い審議を

平成25年度決算を審議するため、議長を除く13名の議員で構成する決算特別委員会（委員長 藤田恵二副議長）を設置しました。審議は9月16日に行い、一般会計・特別会計9決算を審査しました。起立採決の結果、全会一致で認定となりました。

一般会計

庁舎の用地取得は

鈴木（幸） 庁舎敷地借地料とは。取得をしてはどうか。

答弁 財務省から契約期間20年で借用。時期を見て購入を検討したい。

成果がわかりづらい

鈴木（安） 決算書の施策の成果がわかりにくい。

答弁 決算書は各担当課からの提出を受け検討を加え作成に至った。

ホームページの作成は

藤田（高） 町ホームページの作成運用費用は。

答弁 運用費は白河広域圏に支出。ホームページは町職員が作成。

町税不納欠損の理由は

藤田（一） 町税の不納欠損の理由は。

答弁 時効による徴収権の消滅。行方不明者などである。

ニーズ調査とは

鈴木（幸） 子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査をどう活用するのか。

答弁 サービス提供や内容の検討に利用する。

ホームヘルパー支援とは

鈴木（幸） 子育て支援のホームヘルパー派遣対象は。

答弁 障害児のいる家庭に援助として派遣している。

健康福祉センター経費は

鈴木（安）（仮称）健

康福祉センター関係支出内訳は。

答弁 物件調査・整備計画イメージ図・概算工事の設計経費である。

結婚促進事業の成果は

鈴木（幸） 結婚促進事業補助金の成果と検証は。

答弁 出合いのイベントを開催のため商工会青年部へ補助。結婚実績はない。

小峰 結婚祝い金給付・結婚促進事業で成果が出るよう検討を

答弁 婚活イベント開催や民間活力等も検討して結婚促進を図りたい。

進まない竹林整備は

鈴木（幸） 荒廃竹林整備事業が進んでいない。

答弁 東京聖栄大学と

のでは。
答弁 スムーズに作業できるように内部で検討して待機者を少なくする。

補正の理由は

鈴木（幸） 中心市街地屋外便所新築工事補正の理由は。
答弁 ユニバーサルデザインにするためである。

定住につながるのか

鈴木（安） 結婚祝い金給付で定住促進につながったのか。

答弁 36組に給付。結婚促進の一つの手段として考えている。

支援事業の内容は

鈴木（安） ブランドイメージ回復支援事業の内容は。
答弁 東京聖栄大学と

連携して商品開発をした。

用地取得した場所は

鈴木（安） 企業用地取得の場所は。

答弁 旧高城幼稚園の跡地を取得した。

どのように算定したか

吉田 町有財産山林立木の推定蓄積量はどのように算定をしたのか。

答弁 前年と同じ、今後は5年から6年の間隔で調査確認したい。

治山工事内容は

鈴木（茂） 治山事業工事内容は。

答弁 大蔵長岡地区において不安定な山腹の安定を図った。

林道開設時期は

小峰 林道大日向線の開設時期は。

答弁 予算を繰越している。若干工事が遅れているが27年度の完成を目指し努力する。



介護予防教室

FITの活動は

藤田（一） FIT構想推進協議会活動は。

答弁 最近では活動が鈍っている。

下駄箱は町が購入か

藤田（一） 湯遊ランドはなわの下駄箱は町が購入するのか。

答弁 指定管理契約に基づき町が購入した。

高額な研修はなぜ

鈴木（幸） B&Gインストラクター養成研修費が高額である。必要なのか。

答弁 長期間の研修で交通費宿泊費がかかる。受講することにより補助金等有利になる。

国民健康保険特別会計

不納欠損の理由は

藤田（一） 不納欠損に至った経緯と対策は。

答弁 時効による徴収権の消滅。広報はなわに載せたように力を入れて収納を図る。

介護保険特別会計

魅力的な事業を

鈴木（幸） 介護予防事業はもつと魅力的にできないか。

答弁 介護予防が大切、進んで教室に参加

できるように検討したい。

笹原財産区特別会計

今後の計画は

鈴木（幸） 伐期までの今後の計画は。

答弁 財産区の材積把握を行った。今後は財産区管理会で検討したい。

農業集落排水処理事業特別会計

鈴木（茂） 立木を町で買って欲しいと要望がある。購入する考えはあるか。

答弁 財産区管理会で判断したい。

集排の加入促進を

鈴木（安） 川上地区の加入促進は。

答弁 8月に22名の委員で加入促進協議会を立ち上げた。加入率向上を検討していく。

公共下水道事業特別会計

不用額の内容は

吉田 予算残額の内容は。

答弁 計画を立てた工事ができなかった。

上水道事業会計

評価の見直しは

吉田 無形固定資産の内訳と評価の見直しは。

答弁 電話加入権26件分。再評価はしていない。

那倉の桜を観光スポットに 地権者と協議して進めたい



歴史を感じる那倉の桜

質問 樹齢四百年以上の那倉の山桜と湯岐溪谷を観光地化してはどうか。

答弁 桜は地権者と協議して進めたい。湯岐溪谷についても前向きに考えたい。

質問 体験ツアーなどの観光事業を今後どのように進めていくのか。

答弁 道の駅を中心に進めていく。

質問 観光協会のホームページなど情報発信がすばらしい。メール配信をしてグレイドアップしては。

答弁 職員の研修等をし、発信したい。

観光協会からメール配信を発信する



鈴木 茂

空き店舗に
休憩所を作つては
商工会と
話し合つて進める

質問 空き店舗を利用してお客様とふれ合つていけるような休憩所を作つてはどうか。

答弁 商工会の皆さんと話し合いながら進める。

質問 トイレと移動のための貸自転車を整備してはどうか。

答弁 前向きな話し合いを持ちたい。

質問 今後、商店街の支援をどう進めるか。

答弁 若い人たちとも議論を深めて支援していきたい。

このほかの質問 「健康長寿の町づくりはどう進めるか」

と厚覚を重く感じた。桜を初めて見たとき、その年輪の刻み、神々しさに感動を覚えた。関ヶ原の合戦から生きているのだ。

一般質問

これどうなんだっぺ?

一般質問とは町の行財政全般について、町に疑問点を質問し、考えを求めめるものです。町民に代わって町の運営を監視する議員が、議員にしかできない権限として与えられています。

原稿は質問者が要約し、執筆しています。一般質問はパソコンやスマートフォンで見ることができます。町のホームページからお進みください。



高伸木材製材所跡地

健康センター用地価格は適正か 評価額を基準に交渉した

町の考えを問う

一般質問

町発展には正確な情報と見極める目が必要だ。



割貝 寿一

質問 (仮称)健康福祉センター用地購入の価格決定方法は、JAの合併を控えていることと高伸木材が倒産物件であることが影響しているか何う。

答弁 従来、事業計画が定まってから用地取得であるが、先行取得の理由由高伸木材跡地は取得意向段階で競売にかかるという情報とその土地を求めたい事業者

質問 このほかの質問 「未来環境(株)誘致について、一般廃棄物最終処分場について」

が存在することから町が必ず取得できる確信がないため、なるべく相対で交渉した。不要な建物解体、軟弱な地盤改良工事費用を評価額から減額すると坪単価2万1268円である。JA東西しらかわが所有する養畜組合跡地はそれぞれのJA合併を控え、今年度で財産の移動ができなくなることから、町に売るのであれば合併前に売りたいとのJA側の意向に沿った。現存の建物は自ら解体撤去し、更地で引き渡すことから坪単価は4万5705円である。固定資産税の課税の基礎となる不動産鑑定から導きだされた固定資産評価額を基に諸条件を勘案交渉して価格決定した。適正価格で売買した。

決算の感想・評価は 堅実な町政運営ができた

質問

平成25年度決算の感想・評価を伺う。

答弁

厳しい町政運営の中、財政調整基金を13億円と伸ばし堅実な町政が行えた。

答弁(代表監査委員)

国の制度が続く限り、財政がひっ迫している状態ではない。健全化に努めている。

質問

10年後の人口推計8千人、生産人口50%割れと言われるが対策を伺う。

答弁

企業誘致・都市交流・定住人口増に取り組み町づくりに職員共々ががんばる。

質問

材木町に予定している(仮称)健康福祉センターの建設スケジュールは。

答弁

2〜3年後の完成を見込んでいます。

健康福祉センターの建設スケジュールは2〜3年後の完成を見込む



整備検討委員会では視察も



小峰 由久

議会って思ったよりずっと楽しいし、やりがいがあるよ。出てきなよ。

風呂山公園の整備は交渉中である

質問

風呂山公園の景観を遮っている杉林の伐採、取得の考えを伺う。

答弁

土地の取得は大変だが、伐採の交渉中である。

質問

林の中の稲荷様をおくくじ(億くじ)稲荷として売り出してはどうか。

答弁

おもしろいが町が取り組むのはどうか。個人・商工会の取り組みに期待する。



街中から見た風呂山公園

※地方自治法では、町は指定管理者に対して管理の業務又は經理の状況に関し報告を求め、調査し、又は必要な指導をすることができるとされている。(町との関わりについては一般質問ができる)

質問

湯遊ランドはなわに對する町の対応は。

答弁

町として指導している。

質問

湯遊ランドの赤字の原因は震災ばかりではないと思うがどのように捉えているのか。

答弁

お客は来ているがお金を使わなくなった。燃料の高騰などもある。

質問

赤字対策として町はどのように指導しているのか。

答弁

厳しく指導している。

質問

指導の内容は。

答弁

町としては経営を委託している。社長なら言えるが町長としては難しい面がある。

質問

管理協定書の中でも必要な指示をすることができるとなっているが、指導内容は言えないのか。

答弁

指導はしている。社員一同もがんばっている。

湯遊ランド赤字対策は町として指導している



藤田 一男

私の質問と答弁は今回もかみ合わなかった。私も町のことを考えている。



赤字となった湯遊ランドはなわ

保育料はどう決まるのか 国の基準額と民間とのバランス

質問

「子ども・子育て会議」の状況は。

答弁

事業計画を策定中であり、策定後会議に諮る予定である。

質問

埴町の子ども・子育て事業を一元化する考えはないか。

答弁

今後、検討する。

質問

町の保育料、徴収金基準額はどのようにして決めているのか。

答弁

厚生労働省の基準額と地域の事情・民間施設とのバランスに応じて決めている。



埴保育園園児

若者増の施策は 住宅用地確保

質問

矢祭町の（株）S M Cが2千人規模に増員するという報道があった。当町も通勤圏として有利な場所にある。若者を取り込む施策を考えるべきと思うが。

答弁

定住人口を増やすため若者向けの住宅確保など、スピード感を持って取り組みたい。

質問

医師不足の不安解消にどのように取り組むのか。

答弁

東白川郡の医療充実のため全力を尽くす。医大関係者との意思疎通を図る。

質問

超高齢化社会を迎えるにあたり町長の考えは。

答弁

企業誘致、町の活性化が不可欠である。



鈴木 安次

子どもたちの未来のために



議会も厚生連へ陳情した

学力テスト公表をどう生かす 学校と家庭 地域の連携を

質問

公表は保護者の要望によるものか。

答弁(教育長)

学校長・学校評議委員会・PTAの意見を聴取し判断した。

質問

学力向上への今後の取り組みは。

答弁(教育長)

今年度から県教育委員会指定小中連携した教育の研究実践、町学力量向上推進協議会の計画に基づき、町民に見える形で進める。

質問

土曜授業の検討、退職校長会・読み聞かせボランティア等地域の人材活用を検討を。

答弁(教育長)

土曜授業は来年度から導入を検討。地域の人材活用は主要な柱。ノーメディアデーの設定も検討する考え。

質問

地域と連携し、公表を学力向上にどう生かしていくのか。

答弁(教育長)

評議委員・外部の学校評価・健全育成会・情報発信等、地域の意見を取り入れたい。

質問

各学校、児童生徒に対し、今後どのようにフォローしていく考えか。

答弁(教育長)

学力は一側面にしかすぎない。教育委員会として学校・児童生徒のためがんばっていく。



鈴木 幸江

きめ細やかなフォローと公表の継続的検証と対応をお願いしたい。

「町民のうた」を作っては 町民の意見も聞き検討

質問

来年3月、町政施行60周年を迎える。「町民歌」の新設を検討してはどうか。

答弁

県内、約半数の市町村に「市町村の歌」がある。公式の場で必要性はあると考える。町民の意見も聞き、関係機関の協力を得ながら検討する。



学力向上のため配置された指導主事

SNSで情報発信をしては前向きに検討する

質問

町情報発信は広報は
なわ、IP告知端末等
で行っているが外出先
や出張先、仕事場、旅
先でも情報を入力でき
るように情報発信の多
様化、迅速化が求めら
れている。そのツール
としてSNSが有効で
あり重要さが増してい
る。ツイッターやフェ
イスブックでの情報発
信実施を提案したい。

答弁

情報発信の重要性は
認識している。前向き
に検討したい。

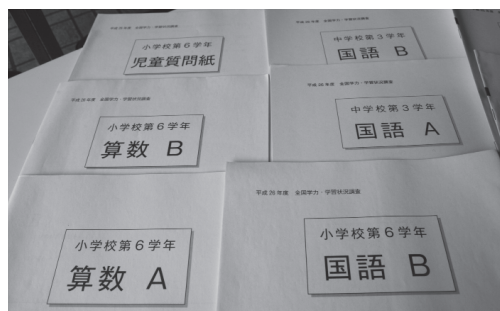
学力テスト公表の 声にどう対応する 学力向上へ メリットを生かす

質問

全国学力テストの公
表は、当然であり支持
するが、学校や教師の

評価につながる、序列
化や競争を生むという
声にどう対応し、説明
するか。
答弁(教育長)
状況を分析し、対応
策を示し指導方法を含
め公表したものであ
り、教師の資質向上、
学力の向上に資すると
考える。

SNSとは
ソーシャル・ネッ
トワーキング・サー
ビス。「人同士のつな
がり」を電子化する
サービス。「コミュニ
ティー」を通じた「友
達の輪」のネットワー
ク型組織。mixi、
Facebookなど
をいう。



全国学力テスト

健康福祉センター 用地取得で誤解がある 不徳の致すところである



鈴木 孝則

質問

(仮称)健康福祉センター
予定地用地取得で誤解が生
じているが、同じ議会議員
の一員として誤解を与えた
ことに対し、町民の皆様、
JA組合員、役場職員の皆
様にお詫びを申し上げた
い。JA側の好意に後ろ足
で砂をかける結果となって
しまったことに対し、町は
どう考えるか。

答弁

誤解をさせたのは不徳の
致すところである。迷惑を
かけた方には申し訳ない。



東白養畜跡地

先日、蜂に刺されましたが、
人に後ろ指を刺されたことは
ありません。これからも努力
していきたいと思います。

9月定例会

条例の制定

議会基本条例
2〜3ページに記
載。

補正予算

平成26年度一般会計補正
予算(第3号)
財政調整基金積み立
て
ほか6特別会計

質 疑

農地中間管理事業とは
藤田(一)農地中間管
理事業とは。

答弁 農地の登録者
(賃借)が決まって交
付金が支払われる事
業。県から町に委託さ
れたことに伴う受託
事業。

滞納整理機構の対象は
藤田(一)機構への分
担金補正理由。徴収対
象は。

答弁 各市町村割額、
徴収実績額を按分した
金額。主に高額滞納者
の徴収を対象とする。
税のみで使用料は対象
外。

風評被害対策内容は
藤田(一)湯遊ランド
はなわへの委託事業内
容は。

答弁 被害の実態理解
が進まない。東京都内
の関係団体の来町を企
画、放射線検査所、全
袋検査等を見学するほ
かそば打ちなどの体験
事業を行う。県の全額
補助なので今後も希望
団体があれば補正し、
進めたい。

町道測量設計場所は
藤田(一)補正の理由
と測量場所は。

答弁 川上東河内線の
バイパスの基本測量を
実施する。

第4回臨時会

平成26年7月31日、
第4回臨時会におい
て(仮称)健康福祉セ
ンター用地取得、補正
予算を可決した。

財産の取得

(仮称)健康福祉セン
ター建設予定地を取得
契約金額
4168万4133円
相手方
株式会社高伸木材

質 疑

土地価格は適正か
小林 先日、JAから
購入した土地の価格が
高いとチラシがでて
いる。価格は適正か。

答弁 不動産鑑定に
より評価額は決まる。
どちらも固定資産評
価額を下回った金額
で契約した。

補正予算のあらまし

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	3億357万円	64億9001万円
国民健康保険特別会計	1676万円	11億7130万円
農業集落排水処理事業別会計	1795万円	1億7975万円
埴林間工業団地用地取得造成事業特別会計	100万円	601万円
公共下水道事業特別会計	350万円	1億8216万円
介護保険特別会計	899万円	9億2066万円
後期高齢者医療特別会計	3万円	9685万円

陳 情

軽度外傷性脳損傷仲
間の会

答弁 国の定めに基
づいて指導していく。

中山間地域等直接支
払交付金の指導は
吉田 27年度から制
度が替わり4年間は
事業報告が必要。今後
どのように指導する
か。

補正予算のあらまし

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	1133万円	61億8644万円

補正予算

平成26年度一般会計
補正予算(第2号)
町道川上谷川線外4
路線
農地災害復旧工事
林道災害復旧工事費

町内6会場 意見交換会

7月29日(火) 片貝分館・那倉分館、7月30日(水) 笹原地区館、高城地区館、7月31日(木) 埴農村労働福祉会館、常豊地区館で意見交換会を行い、総勢57名の方に参加いただきました。

(仮称)健康福祉センターに関する 質問・意見

その他の質疑・意見・提言

Q 新聞報道された町水道水検査結果について町から説明がない。
A 浄水前の検査と聞いているが確認する。

○移住希望者への対応が場当たり的である。空き家対策条例を作るなど積極的に進めるべき。

○イノシシ駆除対策を強化してほしい。

○被害地区へ「ワナ」の貸し付けをしてはどうか。

○イノシシ捕獲報告、猟友会へ行っているが、役場への報告もあり、二度手間である。簡素化を。

○結婚問題、本気で取り組むべき。

Q 健康福祉センターの要否について町民の意見は反映されないのか。
A 町は整備検討委員会に諮問しているが、町民への説明は必要と考える。

視察等参考に検討すべき。基本中の基本。
A 意見を受け止め、反映させていく。

Q 用地買収が先行している。町と議会の合意形成はされているのか。
A 町の提案理由は建設のための土地取得である。意見交換会での意見・要望を反映させていく。

Q 老人のための施設なのか。子どもの一時預かりの施設も必要なのではないか。
A 町全体・町民の幸せをポイントに議会として政策提言をしたい。

○検討の途中経過の可視化が必要である。

○(仮称)健康福祉センター予定地を保育施設にするべき。

Q 成功事例・先進地



高城地区公民館

議会への意見・質問

Q (仮称)健康福祉センター「基本構想」に関する一般質問において、「整備検討委員会に諮問しているので答弁できない」との町長の答弁。議会としてどう対応するのか。また、議会、たよりは要約しすぎでは。

の報酬では若い人ではなりにくい。定数を減らし、報酬増の考え方もあるが、ベストの考え方はないのでないか。基本条例に定期的な議論する条項を入れる。

A 審議方法については、議会運営委員会で適宜対応していく。「議会だより」の一般質問の原稿は質問者本人が要約・執筆している。

○議員報酬は高くてもそれに見合った活動ができればよい。
A 議会は執行権を持っていない。具体的案件は区長を通じ町側へお願いしたい。

○議会は埴厚生病院の充実に行動するべき。町民参加も必要。

Q 議員報酬・定数に関する考え方は。

A 人口比等さまざまな考え方があり。現在

○賛成・反対だけでなく、建設的な議論が必要である。



意見交換の様子 (常豊地区公民館)

○「意見交換会」参加者が少ない。町民の関心が低いのか。議会の努力が足りないのか。検討・改善するべき。

○高齢化・人口減少等、議会として取り組むべき。

○後継者が町に戻ってくる町づくりを。
○子どもの見守りの充実を図ってほしい。
○子どもに重点をおいた政策を進めてほしい。

○除染土が西河内に一時保管されている。保管期限は3年間である。来年で期限を迎える。対応が必要。

○緊急事態に備えた避難計画を策定、また、避難受け入れ計画、備蓄基地の整備も考慮すべき。

○林業振興対策を推進するべき。

○原発事故後の対応・被害調査(風評)対応をしつかりやるべき。

○台宿の町有地、活用を考えるべき。

追跡レポート ～ 一般質問のその後 ～

定例会で行われた一般質問の中からその後の動き、現在の状況を調査しました。

風を感じてサイクリング

埴町観光協会では、平成26年8月からレンタサイクルを開始した。

大人用自転車が3台、子ども用が2台あり、大人用料金は2時間まで200円、以後、1時間ごとに100円増。子ども用料金は2時間まで200円、5時間まで300円。

サイクリングロードは県内でも3カ所しかなく、久慈川沿いは景観がよく、自転車専用であることから安全に走行できる。サイクリングで久慈川のさわやかな風を感じてみてはいかがでしょうか。

申し込み問い合わせは埴町観光協会（道の駅はなわ天領の郷内）
e-mail:kanko-hanawa@pony.ocn.ne.jp（電話43-3400）まで。



（平成25年12月）

質問
道の駅はなわにレンタサイクルを設置し、観光客に貸し出ししてはどうか。
答弁
前向きに検討したい。

道の駅にレンタサイクルを

健康づくりの政策を学ぶ



医療関係者も参加

8月26日、これからの地域の健康政策について研修した。「健康づくりから健康政策へ」～みんなで楽しく健康なまちづくりのテーマで講師は地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター岩永俊博氏。研修には、医療関係者や健康福祉センター整備検討委員会委員も

参加した。これからは、「健康づくり」を「健康行政」と位置付け、地域の住民が、安心して暮らせる心地よい居場所としてのコミュニティを目指し、自分たちの地域にはその地域なりの豊かさ、健やかさを求め、住民と行政が一体となり、健康政策を進めることが重要である。



鮫川村を視察

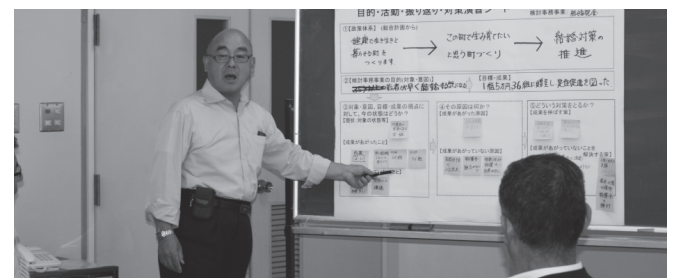
少子高齢化対策について考える
7月1日、鮫川村で視察研修を行った。さめがわこどもセンターは幼稚園と保育園を一体化し、保護者の送迎にもメリットがある。小学校跡地であり、園庭や体育館も広くのびのびと保育・教育できる環境である。高齡者総合福祉センター（ひだまり荘）は、高齡者向け賃貸住宅と介護施設特別養護老人ホームが併設、効率的な運営がされている。

タブレット端末の活用を研修
7月14日、情報化推進検討委員会は茨城県美浦村役場でタブレット端末の導入・ICTの取り組みを研修した。議会の効率的な運営と、ペーパーレス等、経費削減にタブレット端末を利用、議会にて配布される資料全てのデジタルデータ化を段階的に推進している。また、村内に無線ネットワークを整備し、議会（議員）と行政側がタブレットを使用し、住民サービス向上に活用し、情報共有が出来るように整備が行われている。



事業の成果はあったのか

事業の効果を確かめる
9月30日、行政評価の現状と目的をテーマに行政経営支援協会代表理事・坂口正治氏を講師に議員研修を行った。講義の後、各班ごとと演習を行い、一つの事業が何のために実施され、目標・目的に果たったかなど検証を行い、成果を発表した。



検証し発表

議会議員と意見交換しませんか

議会議員と意見交換会をする団体を募集しています。町民または町内に勤務しているおおよそ10人以上のグループが対象で、ご希望の会場に伺います。お申し込みは、議会事務局（Tel 43-2150）にお願いします。

議会傍聴に おいください

次回の定例会は、12月11日から開会される予定です。氏名の記入等簡単な手続きで傍聴できます。ぜひお出かけください。

※議会会議録は、図書館・議会事務局、またはホームページでもご覧になれます。

議会だよりモニターさんの声

（127号の感想）

- 表紙について
- ・ 目次をもっと詳しくしてほしい。
 - ・ 表紙の子どもの表情がとても素晴らしくてよかった。裏表紙もすっきりしている。全体について
 - ・ 一般質問のつづきはなくてもよい。
 - ・ つづきは人柄に触れ親しみを持った。
 - ・ 議員の写真はもっとはつきりしたものがよい。
- （仮称）健康福祉センターにはとても興味がある。
- そのほかの意見
- ・ 子ども・子育て支援事業や学童保育事業の拡充に尽力してほしい。
 - ・ 様々な方法で町民参加型の町政をお願いする。

みんないきいき VOL. 21

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：中塚カラオケ教室
活動場所：中塚集会所 代表者：深谷アイ子さん

歌が好き、カラオケで
体も心も健康に。

今回は、中塚カラオケ教室（会長・深谷アイ子さん）をご紹介します。約20年前から森令子先生の指導を受けています。



歌って健康、歌って最高

当時は20人くらいでしたが、現在は5人で活動しています。月2回のレッスンを受け、少数精鋭で活動しています。

「得意な歌は、演歌と懐メロです。カラオケは健康にも良いし、みんなで楽しく歌って最高です。」と皆さん、笑顔で話してくれました。

森先生は「皆さん、チームワークが良い。ただ歌がうまくなることだけでなく、声を出して楽しむことを教えています」とお話ししてくれました。また、デイサービスでの慰問を行っています。11月の文化祭には森先生の4教室合同発表会があり、ただいま猛特訓中とのこと。皆さん、元気で100歳以上まで歌を楽しんでいただきたいと思えます。

編集後記

暑かった夏もあっという間に終わり、収穫期を迎えました。米価が下ががり、農家にとっては厳しい実りの秋となりました。

そんな中、二つの良いことがありました。一つは樹齢四百年、風雪に耐えて、生き抜く、那倉の山桜に出会えたことです。もう一つは敬老会で町高齢者の104歳の方の歌を聴いてとても感動したことです。

議会基本条例は制定しましたが、議会改革はまだ、道半ばなかです。これからも皆さんに、信頼される議会を目指して日々精進します。

鈴木 茂

グループ募集

グループ紹介「みんないきいき」に登場してくれるグループを募集します。

お問い合わせ・申し込みは議会事務局（Tel 43-2150）までお願いします。

広報常任委員会

委員長	鈴木 幸江
副委員長	吉田 克則
委員	鈴木 茂
委員	藤田 高志

発行者 埴町議会議員 鈴木 道男
編集 議会広報常任委員会

〒963-5492 福島県東白川郡埴町大字埴字大町三丁目21
TEL 0247-43-2150 FAX 0247-43-2116

URL <http://www.town.hanawa.fukushima.jp/>
E-mail gikai@town.hanawa.fukushima.jp